



世界に希望を生み出そう

Rotary International District 2800 山形西ロータリークラブ会報

会長：長澤 裕二 幹事：三沢 大介

地区目標 ロータリーを語ろう そして ロータリーを楽しもう

クラブテーマ 新会員を育てながら、ロータリーを楽しもう

◆点鐘：長澤 裕二 会長 ◆ロータリーソング：国歌・蔵王を仰ぐ
◆司会：平田 智則 S.A.A. ◆会場：山形グランドホテル



第3005回例会 令和6年2月5日(月)

会長あいさつ

長澤 裕二 会長



先日、ケガの話をしました。MRIを撮りました。そしたら、1週間が終わると思ったら、4週間の重傷だと。とにかくそれまで歩くなと言われて、今はなるべく車で移動して大事にしています。

今日は映画の話します。『哀れなるものたち』という映画ですけれど、これを観た人はいますか？さすがにいいですね。

アメリカのアカデミー賞が3月に発表されるようになったんですね。1月にノミネート作品が発表されて、3月に本選が発表されます。本来はタイミング的に、アカデミー賞を獲った作品が今上映中くらいだったのです。それが少し遅れてやるようになって、これは11部門ノミネートされた映画なんですけど、今上映中です。女性の生き方の話であるんですけど、賛否両論あります。というのは、私の一番身近な女性、カミさんは、ダメだと否定しました。次に身近な女性は娘です。それは絶賛しています。

これは何かと言ったら、多分、固定観念だと。女性の生き方に対する固定観念が邪魔して評価できなかったという言い方をカミさんはしています。私は絶賛とまではいなくても戸惑いながら観て、すごく感動しました。だから賛否両論あるということです。もう上映して3週間くらいになるんですけど、それで誰も観ていないということは、本当に映画ファン向けというか、映画の大好きな方たちが絶賛している映画なんですね。普通の人を観るにはちょっと難しいかなという部分もあります。でも、こんな映画も、テーマがすごく鋭く来ます。

女性の生き方と言っても、その女性がちょっと変なんです。妊娠中に自殺して、その死んだ人の体に子どもの脳を移植するという、実に変な映画です。設定からもうあり得ないような話ではあるんです。ただ、それによって、人間がどういうふう成長して、どんなふう世の中に生きていくのかという、それも特に女性の生き方ということでこの映画はあります。そういう非常にシリアスな映画でありながら、R18、成人映画です。というのは、その女性が生きて行く先で、パリで娼婦をやるというストーリーもありますので、ちょっと賛否両論ある映画ではあります。でも、ぜひこんな映画も冒険して観ていただければというふうに思います。

幹事報告

三沢 大介 幹事

- 本日、米山奨学生のチャンビンさんが来られておりますので、奨学金をお渡ししたいと思います。
- 2月17日にIMが開催されます。西ロータリークラブからは48名が参加されます。パレスグランドで2月17日14時登録開始、14時30分開会となります。
- 前回の例会の時に能登半島地震における見舞金の募金箱を各テーブルに回ささせていただきました。先週の例会に参加されていない方もいらっしゃると思いますので、再度募金箱を回させていただきます。ご協力いただける方はよろしくお願いいたします。
- 例会終了後、資金管理委員会と理事会を開催しますので、該当される会員の方はよろしくお願いいたします。
- 今月のロータリーレートは147円です。

ニコニコBOX

〈2月5日〉

長澤裕二会長／エマ・ストーンの体当たり演技にニコニコ
アメリカアカデミー賞11部門にノミネートされている『哀れなるものたち』を2回観ました。エマ・ストーンの体当たり演技に脱帽です。

飯田喬之さん／大沼瑞穂さんを迎えて
お元気で久々にお会いでき、ニコニコします。

武田元裕さん／大沼瑞穂さん、よろこそ
お元気で何よりです。一層のご活躍をお祈りいたします。

鈴木浩司さん／大沼瑞穂先生を歓迎して
大学の後輩の大沼先生、よろこそ西クラブへ。

五十嵐信さん／大沼さんと大久保さんを歓迎して
大学の後輩の大沼さんと中学校の先輩の大久保さんにお越しいただきました。知り合いに来ていただくのは大変楽しいことです。

中村喜陽さん／能登半島地震復旧応援について
弊社でも1月4日以降工事会社含め約1,000人の復旧応援に赴き、2月1日に対応を終え戻ってまいりました。被災地の復旧・復興はまだこれからですが、灯りが点いた時の喜びや感謝の言葉をいただき、事業者冥利に尽きニコニコします。

市村清勝さん／パストラボ山形ワイヴァンズホーム2連勝
昨日、ホーム戦を2点差で勝ち切り、大盛り上がり。ホーム2連勝でこれから先も楽しみです。がんばれワイヴァンズ。

遠藤靖彦さん／大学ラグビー
明治大学VS慶応大学のラグビーの試合を、5月26日に山形NDソフトスタジアムにおいて開催する予定となりました。ぜひ多くの方に観ていただき、ラグビーを楽しんでいただきたいと思います。

ローターアクトについて



大久保 章 さん

[パストガバナー]

本日お邪魔をしましたのは、ローターアクト会員の募集について、山形西ロータリークラブ100人を超える会員の皆さまの中からどうか若い方々のご推薦をいただきたいということでお願いに参りました。

皆さま当然もうご存じのことと思いますけれども、国際ロータリーの会員は、ロータリークラブとローターアクトクラブというふうに2つになっております。つまり、ロータリークラブとローターアクトクラブは同格の立場に現在いらっしゃいます。来月、全国ローターアクト研究会が山形で開催されます。伊藤三之ガバナーとしても全国大会誘致、いろいろと今苦労されている状態であります。山形にローターアクトクラブ、大学基盤で文教大ローターアクトクラブが、山形ロータリークラブと山形北ロータリークラブをスポンサーとしてあります。そのほか、私ども並びに西クラブ様、東クラブ様、イブニング、中央と、5つのクラブで山形ローターアクトクラブをスポンサーしております。ちょうど私がガバナーの時に、鈴木浩司パスト会長に無理矢理お願いをして、「まかせとけ」というようなお話をいただき、サインをいただいたわけでございます。

証人には鈴木浩司の名前がちゃんとR Iに登録をされております。どうかこれだけ多くのメンバーがいらっしゃいますので、1人2人とは言わずもっと多く欲しいのでございますけれども、ぜひ若い人たちを集めて山形の活性化のためにご協力、そしてロータリーとともに一緒に奉仕活動をおこなっていただければなと思って、本日参りました。

今、ローターアクトクラブは年齢制限がはずれております。何歳でもいいかと言われるとちょっと問題はありますけれども、英文でいきますと「ヤングアダルト」ですから、40歳未満くらいかなと思っておりますけれども、どうか今日、入会申込書その他置いていきます。

まだまだいろんな話がありますけれども、今日は時間がないということで、この辺にさせていただきますけれども、足りない部分は伊藤三之ガバナーを回しても結構でございますので、どうか西クラブからご推薦をお願い申し上げます。よろしくお願いいたします。

委員会報告

親睦・家族委員会

会員11名、奥様が8名、2月に誕生日を迎えられます。おめでとうございます。

ゲスト卓話



政治改革に必要なもの

大沼 瑞穂 さん

[大正大学 准教授]

昨今、裏金だなんだとニュースが、今日もですけれども予算委員会で大変大騒ぎになっています。うちの母なんかは、毎日ワイドショーをお屋に見ているので大変詳しいんですけども、皆さま方におかれましては、新聞ではご覧になっている方いらっしゃると思うのですが、今どういうことが起こっていて、今後どういったことが必要なのか。政治改革に今求められるものということで、お話をしたいと思います。

ちょっと駆け足になるかもしれませんが、今携帯でプレジデントオンラインというのを探していただきますと、そこに大沼瑞穂が2本ほど記事をアップしておりますので、今日の話でよくわからなかったなと思われたら、そのプレジデントオンラインの政治というところに大沼瑞穂の記事が載っておりますので、ぜひ一読いただければと思います。

さて、今大変な自民党内の派閥裏金問題ということで、昨年秋に勃発した問題であります。この裏金という言葉、自民党は「使わないでくれ」と。その押し問答で委員会が1時間遅れるとか、そういった状況にまでなっておりますが、世間共通単語のようにこの「裏金」という言葉を使っていますので、私も堂々と「裏金問題」ということで書かせていただいています。

最大派閥安倍派、二階派。安倍派は100人くらいいますね。二階派、宏池会、平成研、麻生派これがだいたい50人前後のグループです。つまり政治家は3人集まれば派閥ができるというふうにおっしゃる方もいますけれども、グループとしてはだいたい40~50人が、なんとなく昔の小学校1クラスくらいでみんなグループにしたがるというのが、どの世界もそうなのかもしれません。だから西ロータリーさんが安倍派だとすると、南さんは麻生派とかそんな感じで、その後グループが市内でもロータリークラブ7つあると伺っておりますけれども、だいたい40~50人、多くて100人みたいな人数がやっぱりちょうどいいんでしょうね。

そういったグループが自民党内にもあるというのが、今回すべて会計責任者が在宅起訴、略式起訴。平成研、麻生派も「何にも俺たち問題ない」とおっしゃっていますが、実は1,000万円弱の金額で告発をされています。なので、何もなければいいんですけど、1,000万円弱、838万円とか918万円といえれば一般の国民からすれば、私からもそうですけれども、大きな額ですよ。それでこういった問題があったので、安倍派、二階派、宏池会、谷垣グループは解散をして、平成研、これ茂木派ですね、麻生派は政策集団としては存続するけれども、だいたい7割の自民党内の国会議員が派閥に属さないというようなことになっています。

ただ一方で無派閥連絡会といって、無派閥の人たちが集まってグループ化をしたり、そういった動きもある中で、要はガラガラボンになっている状況というのが今ある姿で、政策集団というのは先ほど申し上げたように、だいたい多くて40~50人くらいでみんなグループを作りたいと思いますので、今後もこういった政策集団が作られていったり再編されていくのであろうというふうには思います。

在宅起訴と略式起訴、何が違うのかというのは、在宅起訴というのは本人が無罪を主張しているので、これから裁判が開かれるということで、これから裁判で戦っていくわけですね。略式起訴した人は逆に「これは自分が悪かったです」と認めているので、罰金を払ったり、刑が確定していくということで、個人の議員さんたちは、まず逮捕された方は証拠隠滅の恐れがあるので逮捕されるというわけです。それが池田佳隆さんですね。JCの会頭をなされた方でございますけれども。あとは大野泰正参議院議員、私同期で仲良かったのでとても残念ですが、無罪を主張されて裁判で戦うと。今自民党を離党されました。そしてテレビで有名になった谷川弥一先生は、「ごめんなさい」ということで、100万円の罰金と公民権停止3年ということが確定しました。

マスコミで3つの補選が4月にあると。1つは亡くなられた細田議長ですね、安倍派のトップでいらっしゃった。もう1つは柿沢未途さんといって江東区で区長選挙の時にお金を撒いてしまって逮捕された方。そしてこの谷川弥一さんのところ。この3つのうち2つ負けただめだという議論が結構マスコミであるのですが、長崎県自体は実はその次の選挙で選挙区が1つ減るんです。だからここで自民党を立ててもその人を次の選挙区でまた下ろさなくてはならなくなるということがあるので、おそらくここは立てないだろうという見立てがあるので、島根と江東区、この両方負けたらなかなか難しい。どちらかは取りたい、おそらく島根はなんとかしても取りたいというのが今の自民党の中の考えであると思います。

政治資金パーティーってなんだというところでありますが、皆さんの中にもかつて私が議員時代に大変お世話になった方々もあるかと思えます。本当にこれ私の内訳なのですが、政党助成金、これは税金ですね。国民からいただいたお金が各政党に渡って、自民党の場合は1人年間1,200万円で、あとはいわゆる文書交通費というものが月100万円なので1,200万円。すると合わせて2,400万円なのですが、だいたい参議院議員として全県を活動するにあたって、年間4,000万円から4,500万円ほど経費がかかります。これは単純に事務所費、人件費、あとパソコンを借りたり、会社と一緒にですね、そういった経費。あとは会合に呼ばれた時に5,000円とか3,000円とか、そういった会合に出させていただいて顔を売るのも政治家の仕事の一つというか、別に行かなくてもいいんですけども、より多くの方に知っていただくという意味ではご案内をいただいたものにはなるべく出るという。これがやっぱり「ちりつも」で結構かかる。あとは県内、全県ですから小国から最上まで移動するだけでやっぱりガソリン代もかかります。というようなことで、だいたい4,000万円から4,500万円くらいかかっています。

そうすると、これ「2万円のパーティー」というのですが、例えばこちらのグランドホテルさんでも、私も5,000円とか1万円の会をさせていただいていました。これも政治資金パーティーになるんですね。ここで例えば経費を抜いて数十万円とか数百万円の上がりが出ればそれは政治活動に使わせていただくということで、本来政治資金パーティーというのは企業から直接議員がお金をもらおうと企業との癒着が起きてしまうので、より多くの方に参加して寄付してもらおう。2万円はちょっと高いかもしれませんが、5,000円だったら行ける。それが本当は趣旨だったんですね。だからより多くの皆さまから寄付を募るという中で、5,000円とか7,000円とかそういったものを多く開いて、そこでご寄付をいただけるようにしていくというのが趣旨だったのですが、コロナ後急速に、2万円で食事も大したものが出なくて、前は食事も出ていたのに出なくてお土産だけみたいな感じになって、それを丸々裏金として入れているんじゃないか、というようなことも批判の対象

になっています。

政治家個人はわかることで、年間4,500万円かかって、2,000万円以上は自分で集めなければいけないので、政治家個人でやるのはしょうがないにしても、じゃあ派閥でなんでやるのかということですから、派閥で政治資金パーティーをやるのは、派閥の中で、例えば講師を呼んで勉強会をする、そういった講師謝金とか、会費とか宿泊、研修合宿の時の宿泊費とか、あとは事務所を構えていますから、その事務所費とか人件費とか、そういったものもかかりますが、一番かかるのは総裁選なんですね。日本は議院内閣制でありますので、議会で多数の政党、つまり今であれば自民党の総裁がそのまま総理大臣になるわけです。なので、自民党の党員、112万人いますけれども、そこ国会議員の票で自民党の総裁が決まる、すなわちその人が自民党だけではなくて日本国の総理になるという仕組みになっています。

では、なぜ派閥があるかということ、そのグループから総裁候補を出していこうということで、同じ政治思想であったり、「こういう日本を作っていきたいんだ」というふうに考える人たちが同じグループにいるので、よく「党本部からお金をもらって遊説とかすればいいじゃないか」とか、ただ、そういった時には党本部の総裁と戦う人が、その人と戦うのに総裁に「すみません、総裁選で戦うお金ください」と言うわけですね。だからそれはなかなか、権力を奪取しにいくといった時にはお金も人手も全部自分たちで、自前で準備をして、それで権力を奪取しにいくんだということに、派閥の存在意義がかつてはあったというふうに思っています。

それで、よく派閥で同じ人、同じ団体から20万円超の支払いを受けた場合、名前とか金額とかを書かなければいけないとなっているのですが、政治家個人でしたら、秘書が連携しますから、今日はクレヤマくんが来ていますけれども、例えばクレヤマくんがどこかの団体とか企業に行ったら、事務所内で「僕、ここに行きました」と共有しますよね。だけれども派閥の場合は、例えば私が東京の医師会に行ってお願いをする。ほかの議員が医師会に行ってお願いをするといって、事務所内でその50人とか100人いる議員がどこに売りに行ったのかというのがわからない場合が多かったのではないかと。そこがちょっと杜撰だったのではないかとこのように思います。なかなか50人を超える派閥でどの政治家がどの団体からいくらもらったのかということが、そういう情報共有ができていなかったというふうに思います。

少し駆け足になりますけれども、今言われている連座制ですね。秘書さんだけが起訴されてかわいそうというお声があります。私も実際、12月に必ず秘書と「これはOKか、これはダメか」というのをやり取りしていて、うちの事務所にいた女性秘書さんはとても優秀な方で、私はある団体の視察に行った時にそこでお土産を、そこで買わされたと言ったら変ですけど、買ったんですね。そしてそれをお土産代として処理しようと思ったら、「先生、これ、開けてみたらシャンプーと石鹸のセットでした。シャンプー代は落とせません」と言われたんですね。確かに、会社でシャンプーは使わないじゃないですか。「だから先生、自分で買ったものとしてご自宅でご使ってください」と。いい人だなと思いました。そうやってやっぱりチェックをする中で、これはいい、これはダメという話を、本来すべての国会議員がすべきで、やっぱりそうしていなかったということに問題があると思うんですね。秘書に任せていたというのではなくて、その国会議員がちゃんとチェックしていなかったということが問題なので、やはり私は連座制を適用すべきだと思いますし、20万円以下の記載の引き下げも、これはすべきだと思います。

ただ、個人の寄付の場合に、全部出るわけですね。共産

党の方の政治資金の報告書を見たことある方はいらっしゃるでしょうか。私はいろんな政党を見ているのですけれども、100円とかでも名前と住所が全部出るんですね。これは逆に言うと、昨今のプライバシーの問題からすると、自宅まで載せる必要があるとか、そもそもこの20万円から10万円、5万円に引き下げると、やっぱり個人寄付で応援したいと思っている人のプライバシーをどこまで兼ね備えて考えなければいけないのかというのはとても大きな課題であると思っています。ただ、単に引き下げてオープンにすればいいという話でもないなというふうに思っています。

あとは政務活動費の透明化ですね。堂々と党本部から、例えば県連とか、お金を渡せばいいと思うのですが、ただ、一方で、やはり一部表にできないことはあるんですね。例えば北朝鮮との交渉であるとか、そういったものは今出せないというものはあると思うんです。ただ、30年後にはそれが残っているのがわかるということが大事で、それは官房機密費も一緒ですね。国益に資するためにそれを今オープンにできない。毎年毎年はオープンにできない。しかし公文書法のようなもので、30年後、外交白書とか外交文書と一緒にですね。30年後に実は自民党の政策活動費や機密費で北朝鮮との国交正常化に向けての話をするためにアメリカと交渉したり、韓国とか中国と交渉するためにいろんな人が派遣されたりするわけですね。国家議員のみならず、学者とかジャーナリストとかも含めて。そういった人たちに渡すお金というのはやっぱり確保されなければならないのかなというふうに思っています。

あとは派閥で推薦表みたいなものを出して、「この人を大臣にしてください」みたいなのを一生懸命人事の時期にやっているじゃないですか。私は当選回数ばかり上で、本当にこの人が大臣になっていいんだろかというような人が大臣になっているのをいっぱい見てきたので、やはり人事局とかですね、必ずしも政策ばかりではないと思うんです。もちろん幹事長室とか、あと国会の回し、そういったところで汗をかいている人をちゃんと評価できる仕組みがなければ、三百何人いる国会議員を総理はわからないわけですね。どの人が優秀なのかというのを。やっぱりクラスの担任から「うちのクラスでは何くんが優秀です」みたいなのがないとわからないものですから、そういった意味でそれを評価するシステムというのは必要なのではないかなと思います。

なので、総裁選、先ほども権力を奪取しにいく、そのために派閥でお金を集めて総裁選で戦うという話もありましたけれども、今後、政策集団は絶対できていくのですが、総裁選のあり方をどうしていくのかということを考えていかなければいけないんだろかなというふう思うんです。やっぱりいい人が何期もやるのはいいんですけれども、やっぱり総裁も変えていかなきゃいけないわけですね。その時に政策集団と総裁選のあり方というのを党本部で本当に決めることができるのか、現職が有利になってしまうのではないかなという懸念はあると思います。

そもそもこの政党法をドイツのように作れという議論があるんですけれども、これに反対してきたのは野党なんです。自民党はやるべきだと言ってきたのですが、最近では野党がやるべきだと言っているのですが、政治活動に国家権力が介入することになるので、政党に法人格を付与すべきだとかつて自民党は言っていたのですが、むしろ国家権力が介入すべきではないという反対派が野党に多く、その政党助成金を交付するための法律でも政党法というものは使われず、その政党助成金を交付するために政党というもの

がありますよというそういう建付けしかできていないというのが現状です。

なので、野党も与党も政党法を作っていとは思いますが、やっぱりそもそもの政党法をなぜ作らないのか、政治活動という自由であるべきその政治活動に対して、政党法によって個々人の政治活動が制限されないようにすべきであるという、やはり理念というのは大切にしなければいけないのではないかなと思っています。それはもう信仰の自由であるとか表現の自由と同じということですね。自分の思想とか信仰心に、他人に迷惑をかけない限りその自由が許されるということが自由であり、民主主義であるこの日本にとっても大事ですし、そういった根本的なところというのは皆さんにもご理解いただきたいですし、単純に政党法を作ればいいんだということではないということを考えていただければと思います。

ただ、やっぱりお金の使い道については、オープンにしたところで、神戸大の先生、すごいですよね、本当にお正月を返上して毎日チェックしてるんですよ。その先生にみんな頼っているというのが、ジャーナリズムもダメだし、政治家もダメだと思うのですが、そういった機関がなければ、オープンにしたところで気付かれないうんです。週刊誌がちょっと「安倍晋三事務所がガリガリ君を購入していてなんだ」と書く程度ではダメなわけですから、やはりそれを会計検査院のような機関というものも合わせて考えていかなければ絵に描いた餅になってしまう。しかも政治団体だけではなくて、公的機関のお金の使い方ですね。いろいろ議論はありますけれども、例えば宗教団体にしても、NPOにしても、いろんな税理に対して優遇されている団体についてその自由を守っているわけで、政党もそういった類であるというふうな考えれば、そこのバランスというものも考えていかなければならないのではないかなと思っています。

これは先ほどの話ですけれども、選挙が4月にあつて、夏までに総選挙を打てれば、岸田さんが総裁選でもう1回できるチャンスはありますが、解散が打てるかどうかということが今の支持率だと全力で止められるというところになってくるので、難しいのかなと思います。

派閥なきあとの自民党はどうなるのかということ、安倍派は瓦解していきますので福田派として復権されるのか、茂木派も創業メンバーである小淵さんと青木さんが退会をして、おそらくこれからも退会者が続くのではないかと見られています。麻生さんも河野さんが総裁選に出れば分裂する可能性もあるという中で、逆に言うと宏池会は一致団結をしているので、岸田総理が退いたとしても、先日麻生さんの発言で名前が急上昇しましたけれども、上川外務大臣であるとか、林官房長官という次のスターがいるという意味で、この46人が一致団結するということが逆に強みになっていく。解散はしたけれどもこの結束力は強いというふう思うので、岸田さんが続投になるか、もしくは宏池会の誰かを立ててキングメーカーとして岸田さんが君臨していく可能性というのものもあるんじゃないかなというふうに思っています。

ちょっと駆け足になりましたけれども、プレジデントオンライン、政治のところをクリックしていただければ、続きはそこで論考を2本載せていますので、今日のお話はここくらいまでにさせていただいて、また何か機会がありましたら皆さんにこうしてお話ができればと思いますし、こうした機会を作ってくださいました長澤会長はじめメンバーの皆さまに心から感謝を申し上げます。本日は誠にありがとうございました。

本日出席 (2 / 5)	会員総数	出席会員数
	101名	60名